



# 菜園雑学

No. 27

コカブー

平成18年9月29日  
神奈川県農業共済組合

コカブは冬場に重宝、間引き株もおいしい健康野菜で、根も葉も食べられる古くから貧血予防によい野菜として親しまれています。

## [栽培のポイント]

冬期の保温をしっかりとすれば四季まきができます。耐寒性は強い方ですが、寒さに遭うとコカブの肩部に寒害が生じやすく、生育が止まり花芽ができて抽苔します。10月中下旬以降にまくには、必ず保温資材を有効に利用し栽培します。

### 1 品 種

秋まき(9月上~10月中まき):「CR白涼」「スワン」「白鷹」

冬まきトンネル(11月中~2月中まき):「白鷹」「CR白涼」「しろかもめ」

春まき(3月中~4月中まき):「T749」「CR鷹丸」

夏まき(7月上~8月下まき):「T749」「夏まき13号」

### 2 播種準備

- ・堆肥の作付け直前の施用は形状が悪くなる場合がありますので、前作で施用します。苦土石灰10kgを施用し酸性矯正します。
- ・施肥量は成分量で窒素1.0~1.5kg、リン酸1.5~2.0kg、加里1.0~1.5kg程度とします。施肥は播種1週間~10日前に行います。
- ・ベッドの畦は高さ5cm程度とし、排水の悪い畑ではやや高く15cmとし、ベッド幅60~100cm、通路50~70cmとします。

### 3 播 種

- ・播種は条まきとし、播種溝に沿って播種して覆土します。条間12cmで株間10~15cm(夏は条間15cmで株間15cm)で2~3粒まき点播か筋まきとし、覆土は種子の大きさの3倍程度とします。

### 4 栽培管理

- ・間引き:本葉3~4枚の時に生育の悪いところや葉色が濃すぎるものを株間10~15cmになるように間引きします。
- ・防除:白さび病、コナガ、アブラムシ等の適期防除に気お付けましょう。

### 5 トンネルの保温管理

10月上旬~11月上旬まき(12月中旬~1月下旬どり)

- ・生育初期の気温が高いため、播種後不織布を被覆します。11月中旬からは不織布の上にビニールトンネルで被覆します。またトンネル内の温度が25以上にならないように、すそ換気します。

11月中旬~12月下旬まき(2月上旬~3月上旬どり)

- ・播種直後からビニールと不織布の2重被覆をします。本葉3~4枚時まで密閉管理し、その後徐々に換気量を増やします。

### 6 収 穫

- ・通常、コカブが6cm程度のものを収穫をしますが、コカブはやや早めに収穫した方が食味が良いです。 参考文献:これからはじめる野菜栽培